



の殺菌剤!

適用拡大

- もも、ネクタリン：うどんこ病 ●ぶどう：灰色かび病
- はくさい、すいか、メロン：炭疽病 ●さやえんどう：褐斑病、褐紋病
- うめ：環紋葉枯病



スケレア フロアブル[®]



ナシ黒星病



モモ灰星病



インゲンマメ菌核病



キャベツ菌核病

※登録作物は裏面の登録内容をご確認ください

特 長

1. 菌核病に優れた効果
2. ナシ黒星病、モモ灰星病・ホモプシス腐敗病に優れた効果
3. 収穫前日まで使用可能(茶、ほうれんさんは除く)

スクリア® フロアブル

有効成分:マンデストロビン…40.0%

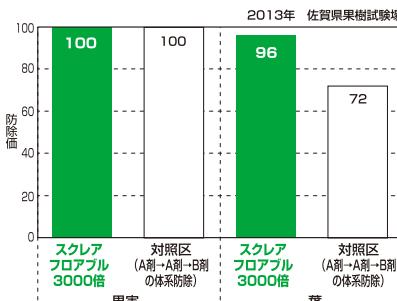
殺菌剤分類 11

なし・もの病害防除に!
各種作物の菌核病防除に!

※下記の適用病害名をご確認ください。

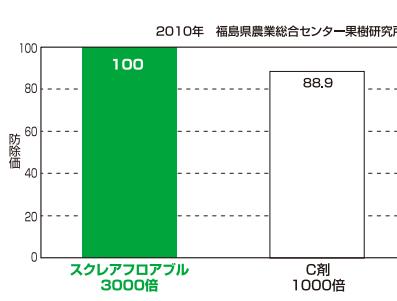


ナシ黒星病に対する効果



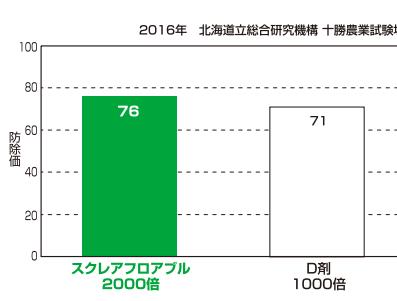
品種: 幸水(8年生)
発生状況: 果実は少発生、葉は少発生
区制面積: 1区1~1.5樹、3回復
処理方法: 4/3(開花期)、12.22の計3回、動力噴霧器を用いて十分量を散布
調査方法: 果実は5/2に50~75果/樹、葉は6/7に100葉/樹について発病の有無を調査。

モモ灰星病に対する効果



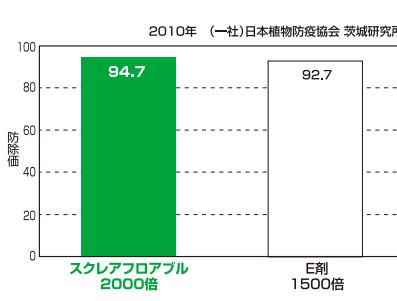
品種: 恋みらい2号(6年生)
発生状況: 少発生
区制面積: 1区1/2樹、3回復
処理方法: 6/26、7/5、15の計3回、動力噴霧器を用いて散布
調査方法: 7/26に樹上の全果実について発病を調査。また、外観健全な果実を各区50果任意に選び、パック詰めにしてダンボール箱に入れ、25℃の室内に保存して定期的に発病の有無を調査。防除率は保存9日目の累計発病果率から算出。

イングンマメ菌核病に対する効果



品種: 大正金時
発生状況: 少発生
区制面積: 15.8m²(3.6×4.4m)/区、3区制
処理方法: 7/20(開花始5日後)、30.8/8の計3回、蓄圧式噴霧器を用いて100ℓ/10aの割合で散布、グラミンSを10,000倍加用
調査方法: 8/15(最終散布7日後)に各区30株について、日本植物防疫協会調査法に準じて発病指數を調査し、発病度・防除率を算出。

キャベツ菌核病に対する効果



品種: 金系201号
発生状況: 中発生(接種)
区制面積: 6.3m²(1.5×4.5m、45株)/区、3回復
処理方法: 5/10(結球初期)、17.25.31、6/7.21の計6回、背負式全自動噴霧器を用いて270ℓ/10aの割合で散布、展着剤(マイリノー5000倍)を添加
調査方法: 6/29(最終散布8日後)、各区全株の発病を程度別に調査し、発病株率・発病度を算出、発病度の平均値より防除率を求めた。

■適用病害の範囲及び使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
トマト、ミニトマト	菌核病、斑点病					
なす	菌核病、褐紋病、ファザリウム立枯病					
きゅうり、ピーマン、とうがらし類	菌核病、炭疽病					
はくさい、メロン	菌核病、炭疽病					
キャベツ、レタス、非結球レタス、カリフラワー、ブロッコリー	菌核病					
すいか	菌核病、つる枯病、炭疽病					
いちご	菌核病、うどんこ病					
たまねぎ	灰色腐敗病、小菌核病					
豆類(種実、ただし、だいすけ、らっかせいを除く)、豆類(未成熟、ただし、さやえんどうを除く)	菌核病、炭疽病、灰色かび病					
だいすけ	紫斑病、菌核病、炭疽病、灰色かび病					
さやえんどう	菌核病、炭疽病、褐斑病、褐紋病、灰色かび病					
しゅんざく、非結球あぶらな科葉菜類	炭疽病					
ほうれんそう	萎凋病	1,000	1ℓ/m ²	は種7日後まで	2回以内	灌注
りんご	うどんこ病、モニニア病	3,000				
ぶどう	黒星病、輪紋病	2,000~3,000				
おうとう	晚腐病、黒とう病、うどんこ病、灰色かび病					
もも、ネクタリン	幼果菌核病、炭疽病	2,000				
かき	褐色せん孔病	3,000				
なし	灰星病					
小粒核果類(うめを除く)	黒星病、ホモブシス腐敗病、うどんこ病	2,000~3,000				
うめ	落葉病、うどんこ病、炭疽病、灰色かび病					
茶	黒星病、心腐れ症(胴枯病菌)、うどんこ病、輪紋病					
	胴枯病	3,000				
	黒星病	2,000~3,000				
	環紋葉枯病、黒星病					
	輪斑病、新梢枯死症、炭疽病、もち病、網もち病	2,000	200~400ℓ/10a	摘採3日前まで		

※本剤及びマンデストロビンを含む農薬の総使用回数

【使用上の注意】

- 使用前に容器をよく振ってください。
- 敷布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布してください。
- 敷布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調製してください。
- ぶどうに使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意してください。
- なしに使用する場合、花弁の焼け、葉への褐点発生等の葉害を生じるおそれがあるので、次の点に注意してください。
①開花期に使用する場合は、展着剤を加用しないでください。
②他の葉剤を混用する場合や展着剤を加用する場合は、事前に葉害の有無を十分に確認してから使用してください。
③気象条件等により散布時や散布後に湿度が高く、葉液が長時間乾かなかつた場合は、葉害が生じやすいで、使用しないでください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

04R10J22S123-Z

- ④施設栽培、トンネル栽培、雨除け栽培などの多湿になりやすい条件下では葉液が乾きにくいためがあるため、注意して使用してください。

- 乾燥が続く条件下においてはうれんそうに対し灌注で使用する場合、株立数減少などが起きることがあるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

2022年10月作成(全農教)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学



T103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト [i-農力](https://www.i-nouryoku.com) https://www.i-nouryoku.com

住友化学アグロ事業部

